vinetur

カナダ、ワイナリー支援策を更新 1億7,700万カナダドルを拠出

3年間の助成金で、米国の輸入禁止措置、増税、洪水被害に直面するワイン生産者を支援する

2026年11月17日（火）



カナダ連邦政府は、Wine Sector Support Programを約1億7,700万カナダドルで更新すると発表した。米国の輸入禁止措置や税優遇の廃止、近年の気象災害による被害に苦しむナイアガラなどのワイン産地のワイナリーに、一定の救済をもたらす。

3年間にわたるこの資金拠出は、スポーツ担当国務大臣のAdam van Koeverden氏が11月13日、ナイアガラ・オン・ザ・レイクにあるJackson-Triggs Niagara Estate Wineryで発表した。同プログラムはワイナリーに返済不要の助成金を提供するもので、カナダ政府がカナダ産の原料だけで造られたワインへの物品税免除を撤廃した後の2022年に導入された。

この免除措置は、カナダでワインを販売する外国の競合企業に不公平だとする世界貿易機関（WTO）の判断を受けて撤廃された。業界関係者によると、この変更で国内生産者のコストは大幅に上昇した。生産者はすでに輸入ワインとの競争や輸出機会の縮小に直面していた。

Wine Growers of Canada会長で、Arterra Wines Canadaのコーポレートアフェアーズ担当副社長を務めるDel Rollo氏は、免除措置の廃止により、業界の税負担は年間約6,000万～7,000万カナダドル増えたと述べた。また、Donald Trump大統領がカナダ産ワインの米国への輸入を禁止したため、カナダのワイナリーは米国に輸出できなくなったと話した。

ナイアガラの生産者は、こうした貿易制限に加えて、ほかの打撃にも見舞われている。業界幹部は、主要なワイン産地の一つであるブリティッシュコロンビア州の山火事や、夏にナイアガラ・オン・ザ・レイク、リンカーン、セントキャサリンズを襲った大規模な洪水も、生産や事業計画にさらなる打撃を与えたと指摘している。

今回の支援策の意義は、単一の栽培シーズンにとどまらない。ワイナリーによると、製品の生産継続や設備投資、雇用の維持を後押しする可能性がある。貿易摩擦と税負担の増加に見舞われている飲料業界の一角を支えるものだ。ブドウ畑の作業やワイナリーへの投資は数年前から計画する必要があるため、政府支援による安定性は、植樹や設備購入、観光関連の支出にも影響し得ると生産者は話す。

Van Koeverden氏はナイアガラでの発表に際し、カナダワインが国内市場で占める割合が依然として小さいことを強調した。前夜、妻と地元のイタリア料理店を訪れたところ、メニューにカナダワインが一つもなかったと出席者に語った。

セントキャサリンズ選出の国会議員Chris Bittle氏は、国内で消費されるワインのうち、カナダ産はわずか30％にすぎないと述べた。Wine Growers of Canadaによると、輸入ワインはカナダのワイン総販売量の70％を占め、国内に入るワインの92％は無関税となっている。

業界関係者は、海外の生産者に対する外国政府の支援が、この不均衡をさらに深刻にしていると主張する。カナダのワイナリーは、他国で大規模な補助金を受けていることの多い輸入ワインと競争する一方、国内の税負担や貿易障壁にも対処しているという。

Rollo氏は、連邦政府の支援策が更新されたことで、ワイナリーはこうした圧力に対応するための、より予測しやすい基盤を得られると述べた。Bittle氏は、資金によってワイナリーは新たな設備改修を進め、より確かな見通しを持って投資を計画できるようになると話した。

Wine Sector Support Programは、2022年の税制変更以降、業界にとって中心的な支援策となっている。助成金は返済不要のため、ワイナリーは新たな負債を増やすことなく、操業の維持や施設の改修にかかる費用の一部に充てられる。税負担の急増や輸出機会の喪失を吸収する余地が限られる小規模生産者にとって、とりわけ重要な支援だ。

5月に発表されたDeloitteの調査によると、カナダのワイン産業は経済に101億カナダドルをもたらし、10万人の雇用を支えている。国内市場でのシェアを51％に高めれば、さらに36億カナダドルの経済効果を生む可能性があると同調査は指摘した。

この成長目標は現状からなお遠いが、業界幹部は消費者意識の最近の変化が追い風になる可能性が

あるとみている。Rollo氏によると、米加関係の緊張を受け、ワインを含む国産品を探すカナダ人が増えている。国内生産者が棚やレストランでの取り扱いを増やす機会になっているという。

ナイアガラのワイナリーにとって、この機会には明確な限界もある。カナダ産品への関心が高まっても、生産者は米国での販売喪失、物品税負担の増加、異常気象に関連した被害の影響を補おうとしている。新たな連邦資金はこうした圧力を取り除くものではないが、ワイナリーが生産を維持し、カナダのワイン市場でシェアを伸ばそうとするなか、業界に新たな公的支援をもたらす。